

2026年10月14日

～路線バスの車内事故ゼロを目指して～

AI カメラを活用した「バス乗員安全システム」を導入

国際興業株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:黒滝寛)は、お客様の安全確保と運転士の負担軽減を目的として、株式会社東海理化(本社:愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長:二之タ裕美)が提供する「バス乗員安全システム」を導入します。今回の導入は本格導入に向けた効果検証(テスト導入)と位置づけており、2026年10月19日(月)より当社が運行する大型路線バス車両(計10台)にて順次運用を開始します。



導入車両のイメージ



骨格情報からAIが乗客の不安全行動を検知

<導入の背景と目的>

当社では、「車内事故(走行中におけるお客様の転倒など)」の防止に向けた取り組みを継続して進めております。この度、運行の安全性をハード面から強化する施策として、AI 技術を活用した本システムを導入し、【車内事故の防止】と【運転士の負担軽減】の実現を目指します。

車内事故の防止	バスが走行中のお客様の行動を AI が検知し、自動で注意喚起アナウンスを行うことで、転倒等の事故を防ぎます。
運転士の負担軽減	走行中、絶えず車内外の状況を注視する運転士の「目」をAIがサポートすることで、車内のお客様の危険につながりかねない状況をより把握しやすくします。これにより、運転士が運行の安全に集中できる環境を整えます。

<バス乗員安全システムの特長>

- 車内に複数設置したカメラの映像を AI で解析し、走行中にお客様が席を立つなど、転倒事故やけがにつながるおそれのある動作を検知
- 乗降口の開閉状況や車速などの車両情報と組み合わせ、車内のお客様の行動状況を総合的に解析
- 危険な状況と判断された場合、運転士への通知やお客様への案内・注意喚起を行い、事故の未然防止を支援

<導入概要>

運行開始予定日	2026 年 10 月 19 日(月)
対象車両	当社保有の大型路線バス 計 10 台 (当社の路線バス全10営業所に所属する車両より各1台)
運行路線	全路線(一部除く) ※中・小型路線バスで運行する路線や空港連絡バス・高速バスなどの一部路線を除きます。 ※特定の運行ダイヤに固定せず、各路線で順次運行いたします。

<映像データ(個人情報)の取り扱いについて>

- 本システム搭載車両においてカメラで撮影された乗客の顔画像を含む映像データは、当社から㈱東海理化へ提供し、本システムの開発・改善(アップデート)のために使用します。
- 当社で取得した映像データは、当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。映像データの第三者への提供は予定しておりませんが、警察をはじめとした公共機関(警察・消防・その他国の機関)からの法的な強制力を伴う開示請求に応じる場合、第三者に提供することがございます。
- 取得データは一定期間保管し、検証終了後は速やかに破棄いたします。

<今後の展望>

実際の運行環境での検証を通じて、㈱東海理化における本システムの機能改善・性能向上に協力するとともに、当社での導入拡大についても検討を進め、車内事故ゼロを目指してまいります。

当社ではこれまで、乗務員教育や訓練といった「ソフト面」からの安全対策に加え、「安全運転訓練車」の導入などといった「ハード面」からの安全対策にも取り組んでまいりました。今後も本システムをはじめとする先進技術を活用し、事故防止体制の強化を図ってまいります。